

施策1 「ごみを出さないライフスタイル」の普及（ごみの発生抑制）

(1) ごみの減量化に向けた意識の向上（計画書 P27-P28）

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
①ごみの減量化に向けた意識の向上	<p><b>マイバッグ作成講習会を継続</b></p> <p>&lt;概要&gt; レジ袋の削減を主な目的として実施しています。廃棄された傘の布をリメイクしたマイバッグの作り方を、外部講師から学びます。</p>	継続	<p>●令和2年度以降、講習会の実施なし</p> <p>【参加人数】 →令和元年度…9名（宮代から1名） →平成30年度…9名（宮代から2名）</p> <p>●傘をリメイクしたマイバッグ作成方法について、衛生組合ホームページに掲載</p>	<p>●参加者の固定化はない。</p> <p>●参加者からの声は、おおむね好評である。</p> <p>●作成方法をホームページ上に掲載しているが、反響は特にならない。</p> <p>●令和2年度以降の開催中止の理由…近年、定員割れが続いており、また、材料の廃材（傘布）の確保が困難になっているため。</p>	集約	●個別の事業として掲載せず、次ページの「5 2R（リデュース、リユース）の推進」に集約
	<p><b>ノーレジ袋キャンペーンを継続</b></p> <p>&lt;概要&gt; 日常の買い物等で、不要なレジ袋を受け取らないようにし、マイバッグの活用を呼び掛ける取り組みです。のぼり旗を設置したり、啓発品を配布するなどのPRを行っています。 ※R2年度で事業終了</p>	継続	<p>●店頭でのPR、啓発の実施</p> <p>【宮代町の参加事業所実績】 令和2年度…75事業所 令和元年度…76事業所 平成30年度…72事業所</p> <p>【宮代町の街頭PR実績】 事業所…1か所（平成30年度まで） 催事…1か所（産業祭）※令和元年度まで実施、2年度は中止</p>	<p>●令和2年度で終了</p> <p>→レジ袋有料化、海洋プラスチックごみへの関心の高まりにより、アンケートの結果、964人中904人、約94%の方が普段からマイバッグを使用していることがわかり、マイバッグの使用が定着したと判断</p>	集約	●個別の事業として掲載せず、次ページの「5 2R（リデュース、リユース）の推進」に集約
	<p><b>家庭用剪定枝粉砕機の無料貸出を継続</b></p> <p>&lt;概要&gt; 各家庭の庭木などの剪定した枝を粉砕するための、専用の機械を無料で貸し出し、廃棄される剪定枝の減量化を進めることで、ごみを出す側、ごみを処理する側、両方の負担軽減となります。</p>	継続	<p>【宮代町の実績（のべ件数）】 令和2年度 …14件 令和元年度 …11件 平成30年度 …7件 ※実績は貸出延長分の再申請を含む</p>	<p>●過去3年間の貸出者21名のうち、毎年の利用者は1名。利用者の固定化はない。</p> <p>●利用者からの声は、おおむね好評である。</p> <p>●粉砕機の故障対応や付属品の紛失対応等が課題となっている。</p>	継続	<p>●個人での使用のほか、地区や自治会での使用など、多様な活用方法を提案・支援していく。</p> <p>●樹木の維持管理の支援にもなるため、緑化の推進にもつながる。</p> <p>●施策3「生ごみや剪定枝等の減量化・資源化」へ移動</p>
	<p><b>「ごみを減らしてきれいな街づくり表彰制度」を継続</b></p> <p>&lt;概要&gt; 日頃から、ごみの減量化やリサイクル推進の活動を積極的に行う個人や団体を表彰し、活動に対するモチベーション向上の一助とするものです。</p>	継続	<p>●5部門で表彰（各部門5点以内）</p> <p>①きれいな街づくり推進団体部門 ②減量推進事業所部門 ③ノーレジ袋キャンペーン部門 ④マイバッグコンテスト部門 ⑤特別功労部門</p> <p>※過去3年間、①・②・⑤は宮代町の実績無し</p>	<p>●次の2部門は令和2年度で終了</p> <p>③ノーレジ袋キャンペーン標語部門 ④マイバッグコンテスト部門</p> <p>※①・②も応募数が厳しい状況が続いている。</p>	集約	<p>●町表彰制度の基準に該当した場合に表彰</p> <p>●県関係の表彰等の活用</p>

A 事業	B 取り組み内容	C H29.4 方針	D 進捗状況	E 効果、課題・問題点等	F R5.4 方針 (案)	G 見直し(案)
	<p><b>(★) 2R (リデュース、リユース) の推進</b></p> <p>＜概要＞ 町民一人ひとりが、ごみの減量化や再利用に対する認識をもち、実践していくためのきっかけづくりとして、情報提供や講座などを行っています。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生組合ホームページ、衛生組合だより、町広報紙で啓発</li> <li>●夏休み親子教室（県と共催）、マイバッグ作成講習会による啓発</li> </ul> <p>【夏休み親子講座の参加人数】 令和2年度…《中止》 令和元年度…5組12名（宮代から3組6名） 平成30年度…8組21名（宮代から4組8名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リフューズ（ごみになるものを受け取らない、持ち込まない）の視点がクローズアップされてきているため、追加が必要ではないか。</li> </ul>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2Rの他に、リフューズ（ごみになるものを受け取らない、持ち込まない）とリサイクル（再資源化）を加え「4R」とする。そして、4Rの理解促進、優先順位などの啓発を行い、1人ひとりが実践できるようにしていく。</li> </ul>
	<p><b>販売店との協働（店頭回収等）による取り組みを普及、拡大</b></p> <p>＜概要＞ 行政による資源物の回収・リサイクル化に加えて、民間業者が行うリサイクル事業（店頭回収等）の活用を促進するものです。それによって、資源回収とリサイクル率、利便性の向上などを推進します。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生組合ホームページにおいて、資源物の店頭回収実施店舗の紹介、リターナブルビン回収の啓発、小型家電リサイクル、家庭用純正カートリッジ回収について紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●店頭回収の拡大にあつては、従業員の業務増（回収作業）、指定品以外の混入対策や、回収後の処理経路の確保が課題である。</li> <li>●上記の理由から、衛生組合での周知を希望しない店頭回収実施店舗がある。</li> </ul>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資源回収量の増加、リサイクルの拡大のため、民間の資源回収・リサイクル事業（民間サービス）を積極的に活用する。そして、民間サービスの活用を拡大し、継続的に利用していくため、消費者、事業者それぞれがメリットを得られる方法を検討し実施する。</li> <li>●施策2「資源の分別徹底」へ移動</li> </ul>
	<p><b>キャラクターを活かした広報、啓発の推進</b></p> <p>＜概要＞ ごみ収集カレンダーや、ホームページなどの情報媒体にキャラクターを活用し、イメージアップに役立てています。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生組合ホームページ、衛生組合だより、収集カレンダー、ごみ分別アプリ、各種イベント配布物に、キャラクター「げんりょうくん」を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャラクターがあることで親しみやすい印象となり、情報が伝わりやすくなるメリットがある。</li> <li>●キャラクターの認知度や浸透度により効果は大きく異なる。</li> </ul>	継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャラクターを生かし、廃棄物に関し、明るいイメージを取り込んでいく。</li> </ul>
	<p><b>電子媒体の利用促進による紙ごみの削減</b></p> <p>＜概要＞ 日常的な情報媒体として、パソコンやスマートフォンなどの電子媒体の活用を進めて紙の使用削減につなげていきます。</p>	推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住民に対して特定の働きかけ等を行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子媒体を持っていない、また使いこなせない方への対応が課題である。</li> <li>●電子媒体の普及に加え、人口減やインターネットメディアの台頭等の理由から、紙の回収量は既に減少傾向である。</li> </ul>	廃止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子媒体の普及が進み、既に削減効果が十分に出ている。</li> </ul>
②全戸を対象とした戸別収集の導入の検討	<p><b>(★) 戸別収集について、他市町の成果を調査・研究</b></p> <p>＜概要＞ 町内の全世帯のごみを、すべて戸別に集める方式とする場合の、メリット・デメリットの検討、先進事例の情報収集などを行い、有効性の検討を行います。</p>	推進	<p style="text-align: center;"><b>この取り組みについては、施策5「高齢化等の社会状況に対応した適正な収集・運搬」に移し、そちらで改めて検討します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者・障がい者を対象とした戸別収集（ふれあい収集）を実施</li> <li>●全戸を対象とした戸別収集については、情報収集や検討は進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個人宅ごとにごみが回収されるため、ごみ出しについて個々人の責任が明確になるが、それが、ごみの減量化に効果があるかどうかについては、見通しがつかない。</li> </ul>	施策5に集約	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今後は、高齢者・障がい者のごみ出し支援である、ふれあい収集に重点を置き、活用や改善を検討していく。</li> </ul>

★：これまでの取り組みに加えて実施する、あるいは特に力を入れて実施する取り組み（H29.4策定時）